

特 集

マニラ日本人会同好会～ご紹介～ テニス同好会

今回はテニス同好会をご紹介します。

フィリピン駐在 10 年で、若い頃は軟式テニス、オーストラリアでの駐在時に硬式テニスを始められたという代表の三好一秀さん、更に、練習時に世話役の中川さん、熊澤さん、その他練習に参加されていたメンバーの皆様にお話を伺いました。活動の様子をお楽しみください。

※本記事は 2023 年 8 月現在の情報です

ーテニス同好会は、いつ頃設立されたのですか？

(中川さん) はっきりしたことは分かりませんが、1997 年に最初にマニラに赴任した際には既に活動していました。年に 2～4 回大会が開催されているのですが、7 月に行われたその大会が第 145 回でしたので、少なくとも 1980 年代後半には既に設立されていたのではないかと、思います。



—メンバーは何人でしょうか？

会員数は50名強で、毎回の練習には15～20名程度が参加しています。

メンバーの年齢層は20代から70代までと幅広く、経験年数の浅い方でも、現在、練習している Brent International School のコーチが丁寧に指導してくれますので、十分ゲームを楽しめるようになるまで上達できると思います。

—練習頻度、練習場所について教えてくださいませんか？

現在は、Laguna の Binan にある Brent International School のコートをお借りして、日曜日の午後1時～4時までお借りして、3時間練習しています。この練習会を「日曜会」と称しています。





コートは、貝殻砂を敷いたクレー・コートですが、それ程、滑る感じではなく、足元を気にすることなく練習出来ています。ただ、通常の運動靴ではコートを傷めるため、テニスシューズの使用が義務付けられています。

練習には、ラケットとテニスシューズは必須で、個人で購入して頂く必要があります。

ボールは、毎週、各コートに1缶（3個入り）×5コート分の新品のボールを会費から購入して準備しています。テニスボールの劣化や変形が激しく、プレーの精度に大きな影響を与えるため、ゲーム形式での練習では、必ず新品のボールを使用しています。（公式の試合では、ボールが頻繁に交換されますが、そうした1回のみ使用された公式戦のボールは新古品として安く販売されているそうです。）

300 ペソ/回で練習に参加頂いています。ボールの購入費の他、会場の使用料、大会などの開催時の準備費用等に充てさせて頂いています。

—練習内容について教えてください。

全体で8面ありますが、通常5面を借りて、1面は初心者及びリバイバル組の練習、残り4面でゲーム形式の練習をしています。

基本練習の内容

初心者及びリバイバル組の練習は Brent International School のコーチ又は上級者の方が、球出しを行い、



- 短い距離、長い距離のそれぞれフォアハンド、バックハンドでの打ち返し
- ネット際のボレー、ロブでの打ち返し
- 高いフライ系の飛球のスマッシュでの打ち返し（ネットに1回タッチしてから飛球を見ながらバックして打つ練習を繰り返す）
- サービスの練習

などを行います。ゲーム形式での練習をする前に、基本練習を繰り返すことで、技術の向上、維持に役立ちます。初心者だけでなく、上級者の方も参加されています。



この基本練習は約1時間行われ、残り時間はゲーム形式の練習に上級者同様、参加します。

ゲーム形式の練習内容

ダブルスで楽しみます。

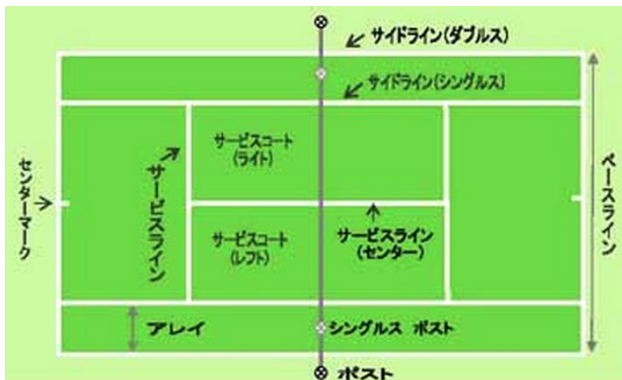
ゲーム形式は、出来るだけ多くの人とプレーが出来るように、ダブルスで、4ゲーム先取で行っています。(4人のメンバーが最低1回は必ずサービスが出来るようになるので、4ゲーム先取のゲームを繰り返します。)



トランプ・カードで、各コート番号を引き、それぞれのコートに4人のメンバーを決め、その中でペアを作り、対戦する形式を繰り返します。

ルールのおさらい

* 1ゲームは4ポイント先取で勝ちとなります。(ポイントは、独特でラブ(0)、15、30、40、ゲームポイントと数えます。)



サービスは、1ゲーム毎に交代で行います。各ゲームの最初(奇数回)のポイントでは右コートのベースライン後方から、次(偶数回)のポイントでは、左コートのベースライン後方から行います。

いずれも対角方向の相手のサービスコートに打ち込みます。ファーストサービスが指定されたサービスコートに入らない場合にはフォールトとなり、セカンドサービスを行います。セカンドも入らなかった場合は、相手に1ポイント入ります。

サービスは、1ゲームが終了する毎に相手と交代します。



—試合はあるのでしょうか？

年に3回程度、不定期ですが、ほぼ4カ月に1回のペースで、10名程度で1チームを組み、チーム対抗のリーグ戦の大会を開催しています。

日本人会テニス同好会の練習では物足りないということで、他のコートでも練習している日本人会員も、その試合には集まり、総勢40名程度で楽しんでいます。

場所はブラカン州 (San Jose del Monte City, Bulacan) にあるCSA (The Colegio San Agustin) Tennis Stadiumという11面のコートのあるドーム式のスタジアムで行っています。

大会後は決まってスタジアム近くのレストランを貸し切って懇親会を行っています。



(参考： 第 145 回日本人会テニス大会 要綱抜粋)

1. 日 時：
7月2日(日) 10:00~16:00 (9:40 受付開始)
10:30 大会開始予定
2. 場 所：
[CSA ブラカン テニスコート \(CSA Bulacan Tennis Stadium\)](#)
Google Map で CSA Bulacan tennis court で検索してください。
※Makati から約 1 時間半程度。
3. 参 加 費：
テニス大会 日本人会会員 P400、非会員 P500
懇親会 日本人会会員 P1,000、非会員 P1,200
(参加費は当日会場にて集金致します。)
4. 試合形式：
ダブルス・チーム対抗戦
4チームに分かれて、リーグ戦を行います。
チームの対戦は、各チーム5ペアでの対抗戦。
ゲームは、6ゲーム先取で行います。
5. 表 彰 式：
試合終了後に表彰式を行い、賞品あり。
6. 懇 親 会：
17:30 頃～ 場所：Roadside Dampa, San Jose del Monte City
(フィリピン料理) ※場所の詳細は Google Map で要確認。

—最近、あまりテニスラケットを飾っているお店を見かけないのですが、テニス用品はどちらで購入できるのでしょうか？

Toby's Sports などの通常のスポーツショップで購入できます。フィリピンは暑いので、強い日差しの下で行うスポーツが人気があるとは言い難いですが、それなりに愛好家はいます。

道具も手に入りますし、ガットの張替えもお店で普通にやってくれます。日本ではガットの張替えに数千円かかるところが、フィリピンでは数百ペソで対応してもらえ、かなりお得です。

テニス人口が少ないなんて、言わせません。フィリピンでは女性のダブルスでの大会なども頻繁に開かれているんですよ。

「ダブルスの大会に出場した興奮がたまらなくて、テニスに病みつきになってしまいました。」と話して下さったのはフィリピン在住 20 数年目の熊澤さん。

ご主人のグアム駐在時代に、お子様をテニス・レッスンに通わせるタイミングでテニスを一緒に始められ、ご主人のフィリピン駐在を機に本格的にテニスをされるようになったそうです。



—3時間、打ち合うのは疲れませんか？

年長組ながら、常にコートの中を駆け回る佐野さんは「疲れるけど、順番待ちもありますし、時折休みながらやっているのです、大丈夫です。それに、きれいに打ち返せると本当に気持ちがいいんです」とも仰っていました。



そして、練習後、ほぼ毎回催される有志の食事会では、「心地よい汗をかいた後、気の合ったメンバーで食事しながら飲んで会話が、たまらなく楽しいです。」と答えてくれました。



★☆☆ 取材を終えて ★☆☆

常にパコーン、パコーンという打球音だけが響きわたり、時間いっぱい黙々とボールを追いかけ続けるメンバーの姿、そしてきれいなボレーやリターンが決まった際の何とも言えない笑顔が本当に印象的でした。テニス経験のない私も、つついやってみたいと引き込まれる魅力のある同好会でした。

経験のある人もない人も、是非一度覗いてみてはいかがでしょうか。

詳細・お問い合わせ テニス同好会

テニスを一緒に楽しめるお仲間を募集中です！



募集は随時おこなっており、見学も可能です。どうぞお気軽にメールにてお問い合わせください。

日 時	毎週日曜日 PM 1～4時
場 所	Brent International School (Binan, Laguna) *入構には事前登録が必要ですので、参加されたい方は、下記までご連絡お願い致します。
お問合せ	代表 三好 一秀 mail: faa00139@nifty.com

